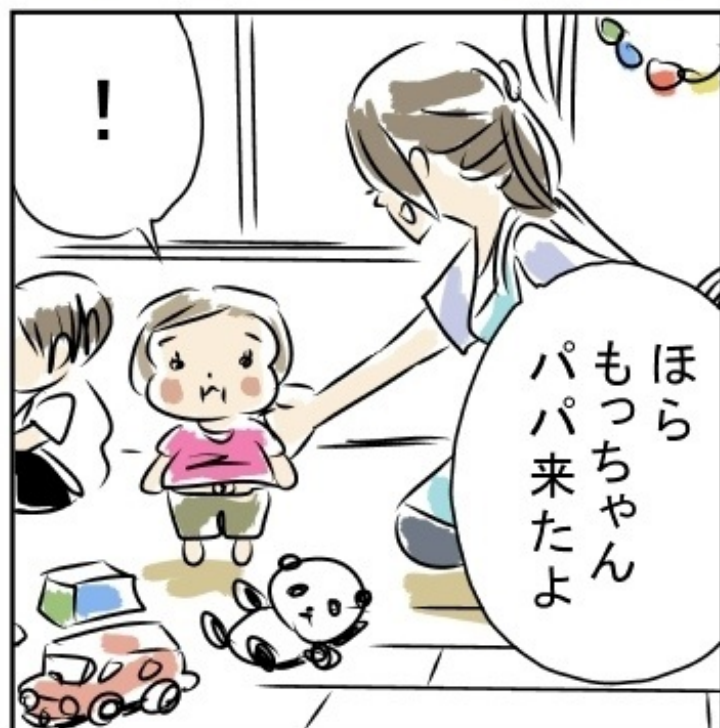
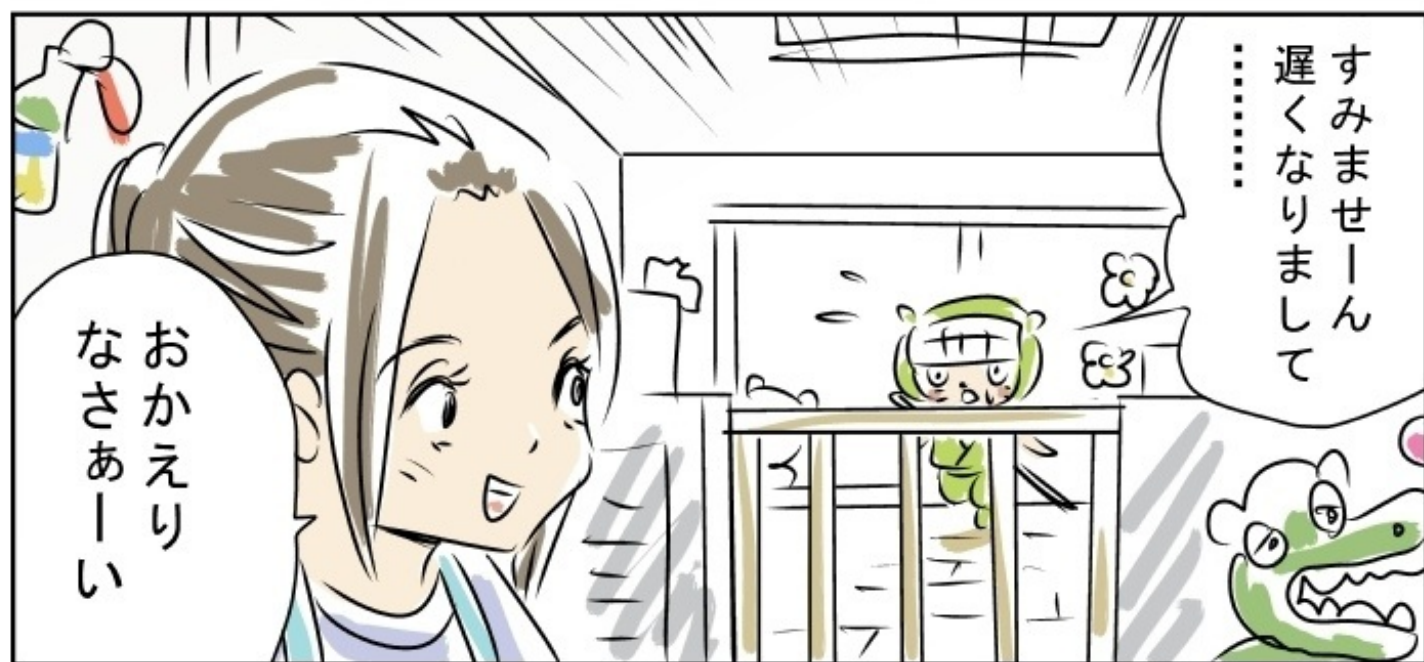


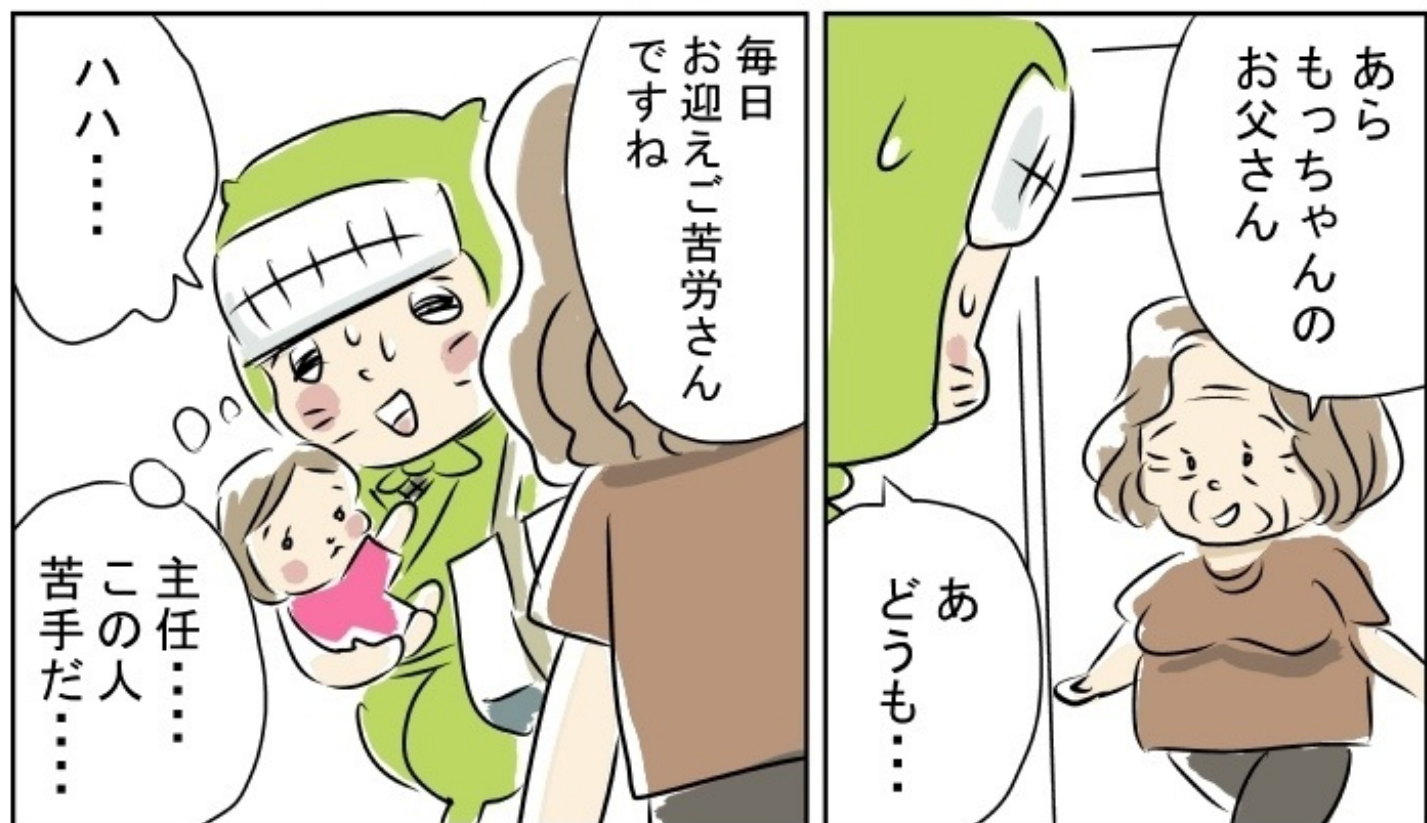
—子育て忍者チン丸—

拙者、無名でござる



丸本チンタ









2314円に
なります



へえ
最近の奥さんはあ
うらやましいわあ

私たちの積極的
時代には育児を
家事や育児を
手伝ってくれる
旦那様はもの
いなかつたもの

ほんとに



いつも
お子さんと
ご一緒ですね



えあ？
ああ……

共働きで妻も
忙しいので……



違う

好きで
やってくれる
わいけいじゃ
ない……

娘のことは
好きだが

家事も育児も
やれる方が
やっっているとい
うだけ……

おうち
着いたよ

ついたねー

おじさーん！
ボール取ってー！

あえ
……?!
……!

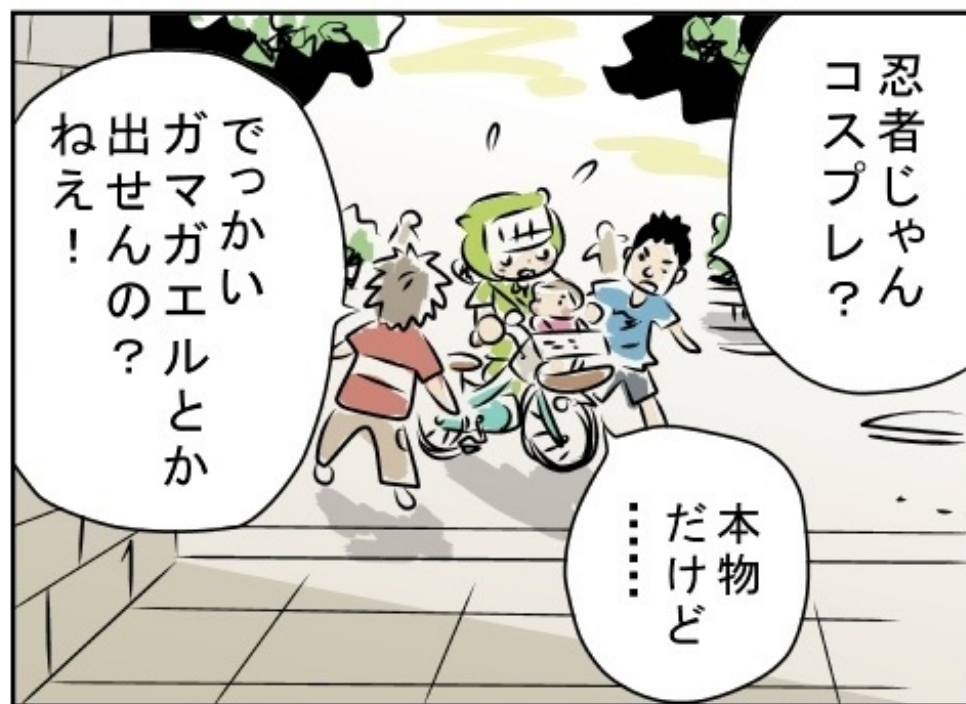
ちよっと
無理……!

テン
テン
テン



ごめん……

ちえつ〜!



忍者じゃん
コスプレ?

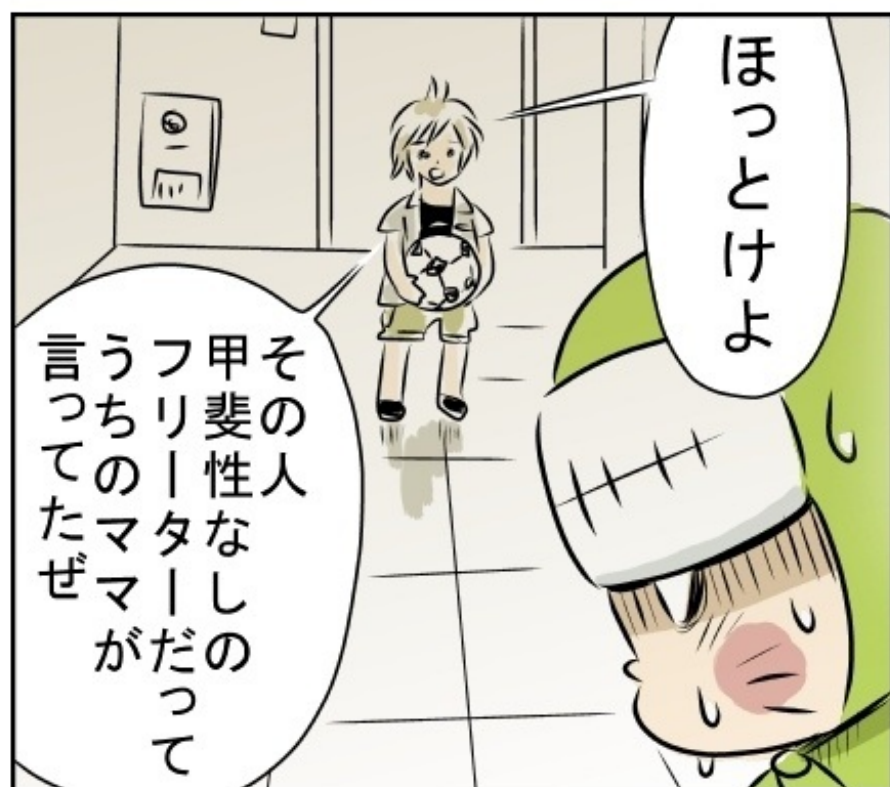
本物
だけ……

でっかい
ガマガエルとか
出せんの?
ねえ!



ん?

おじさんなんで
そんな格好
してんの?



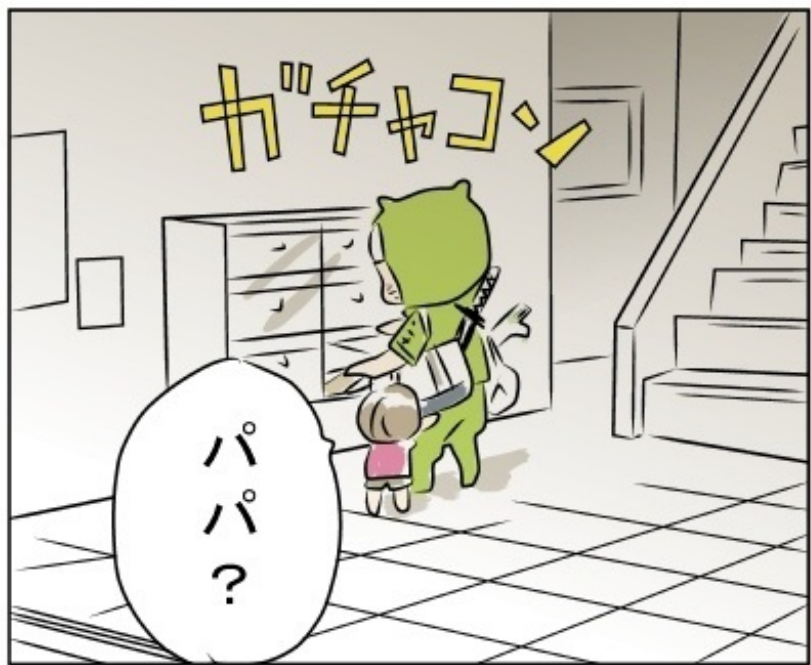
ほっとけよ

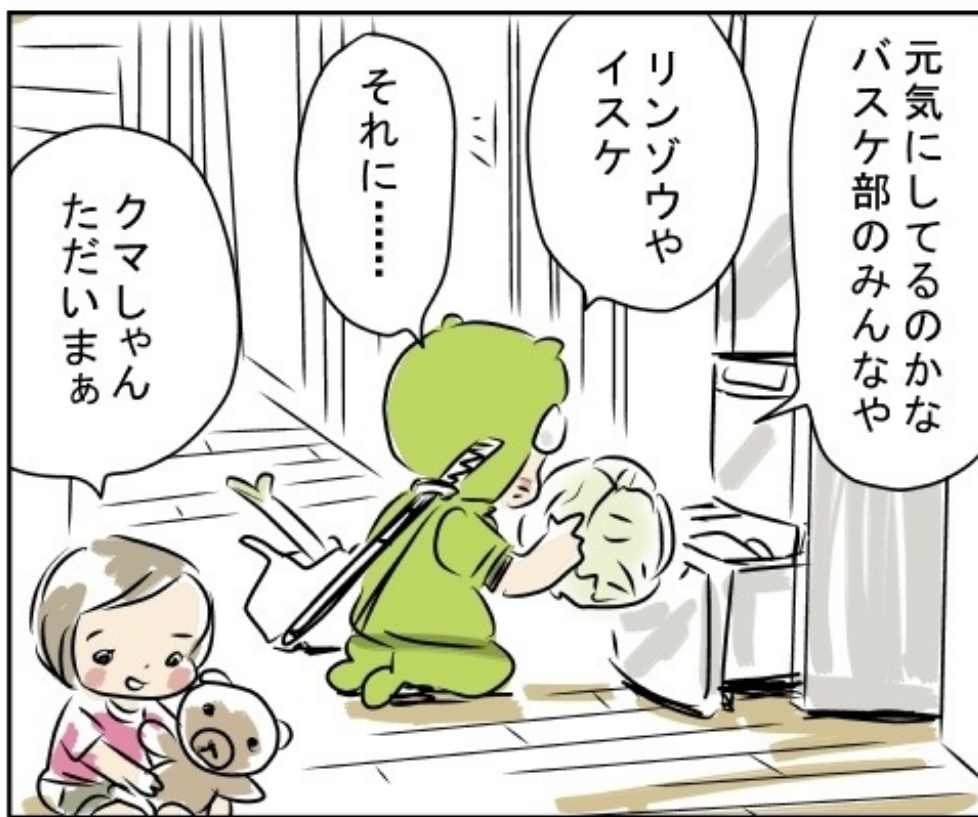
その人
甲斐性なしの
フリッターだ
うちのママが
言うてたぜ



出せないよ

あんなのできるの
一握りの天才だけだ





伊賀中学同窓会

1. 参加します

2. 欠席します

どちらか一方に〇をお付け

「好きな仕事が出来ていいね」って人に言われることがある

若い頃は私も
そう思ってたが

今になって
思えば……

パあぱっ！

もっちゃん
お座りして！

ガタ
ガタ











トレーニング
行ってくる……

うううう……



小学一年生の
とき



才能があると
勘違いして

忍者を
目指した



誰に教わる
こともなく
バク宙ができた
私は

うわあ
すごい！

忍者
みたい！

伊賀の穴で
厳しい修行に
耐え

十八歳のときから
一人前の忍者
チン丸として活動

少しずつ仕事を
重ねるも

その名は
売れず…

三十三歳のとき
忍者としての仕事は
ほとんどなくなつて
しまった

収入0…

くしくも
娘を授かったのは
そんなときだ

やっぱり
妊娠してた…!!

最悪の
タイミングと
思われるかも
しれないが

ほんと?!

どんな汚れ仕事を
してでも
この子を立派に
育ててみせる！

一緒に
がんばろうね

私たち夫婦にとって
娘は

どん底に射した
希望の光だった




「好きな仕事ができ
いいね」って
人に言われる
ことがある




若い頃は私も
そう思っていたが

今となって
思えば
.....






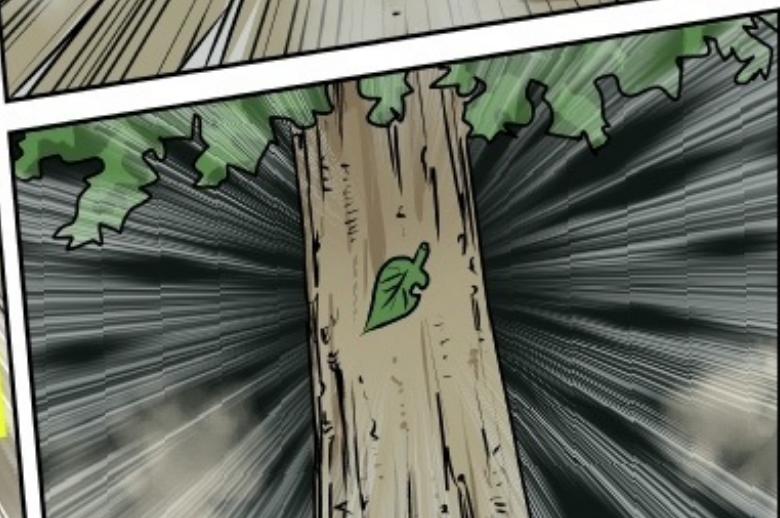
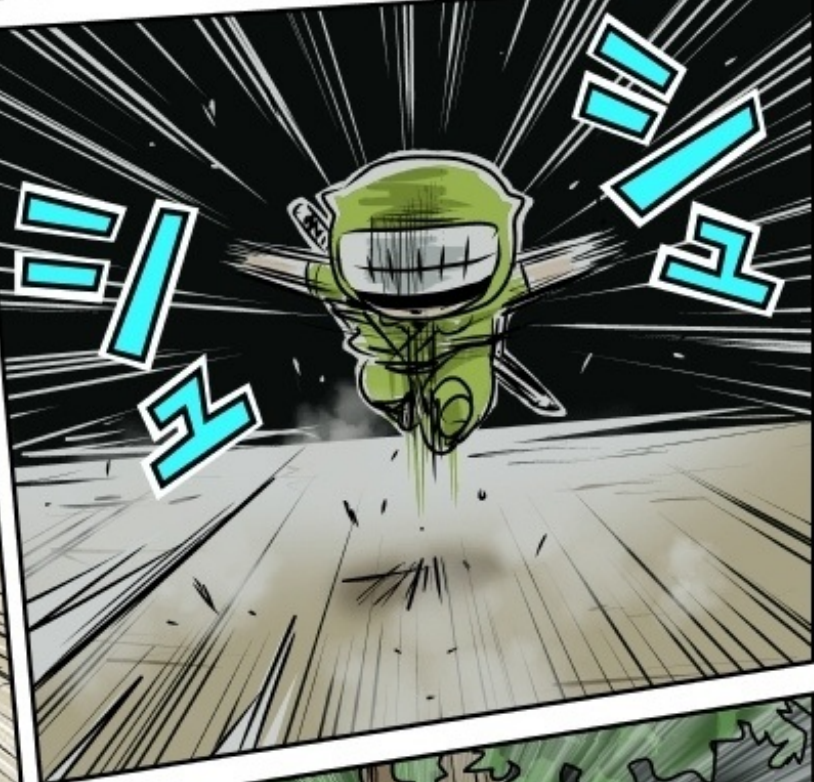
なぜなら

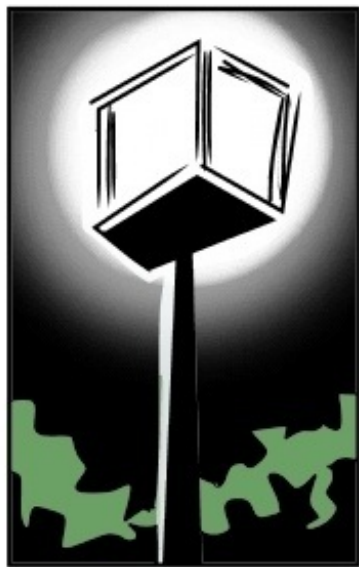


私には人生を
選ぶ権利などは
なかったのだ

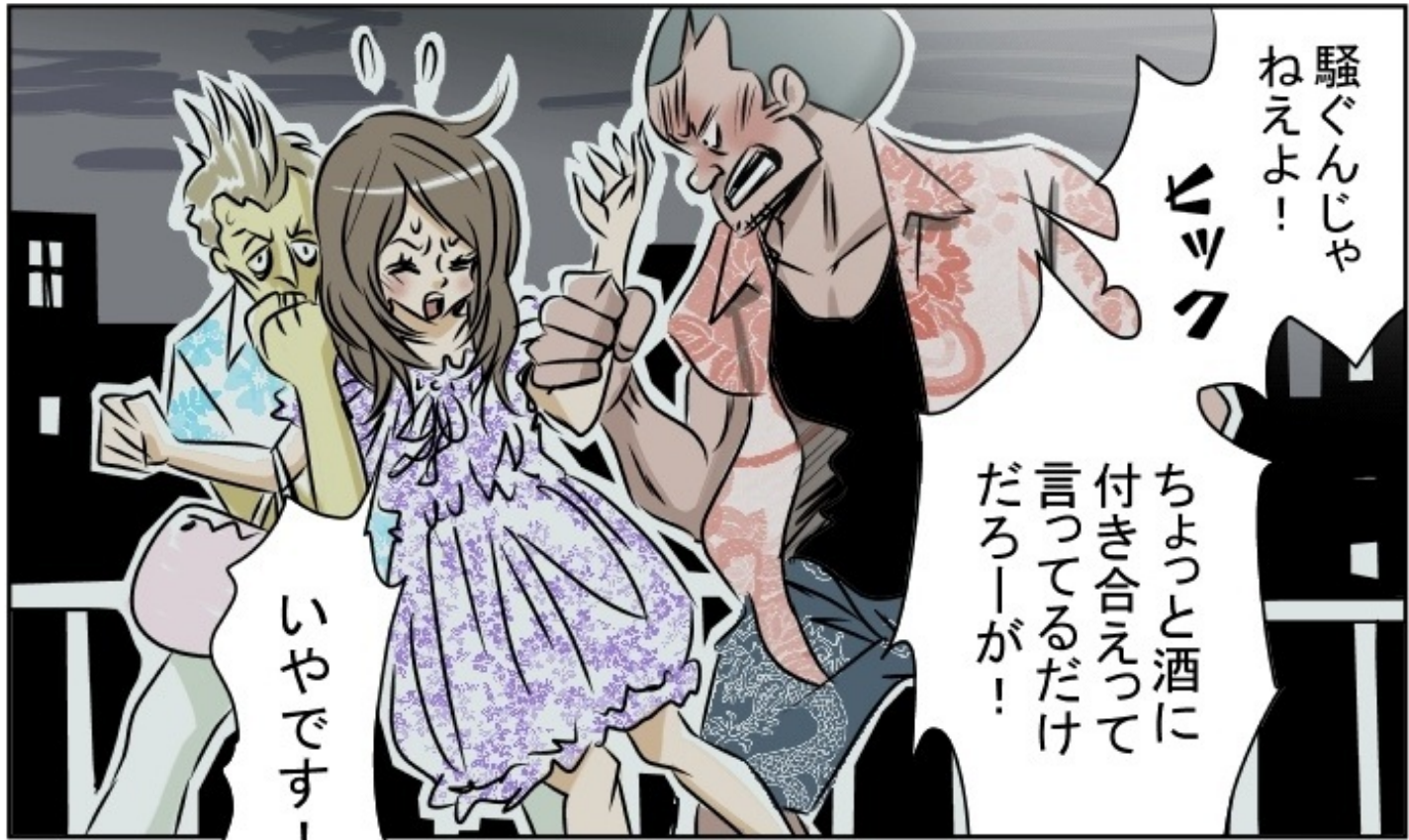


私にはこれしか
できなかつたの
だから……





やめてください
.....!



騒ぐんじや
ねえよ!

クック

ちよつと酒に
付き合えって
言ってるだけ
だろーが!

いやですー!



離して.....

.....

できれば
こんなべ々な
場面には

もっと
若いうちに
遭遇したかった

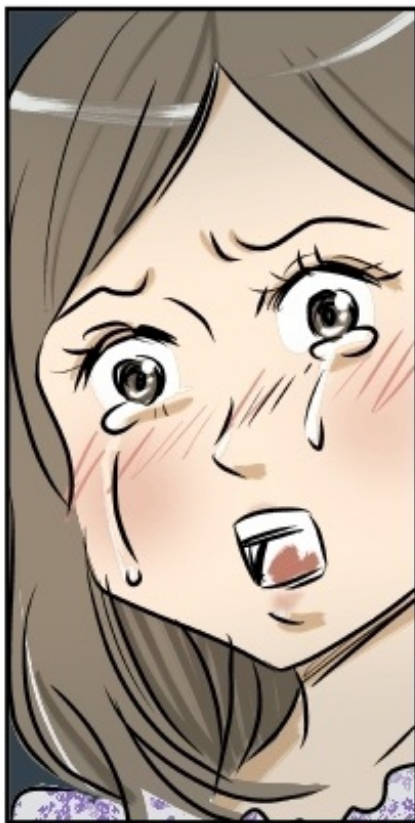
お願い
だれか助けてえ……!!

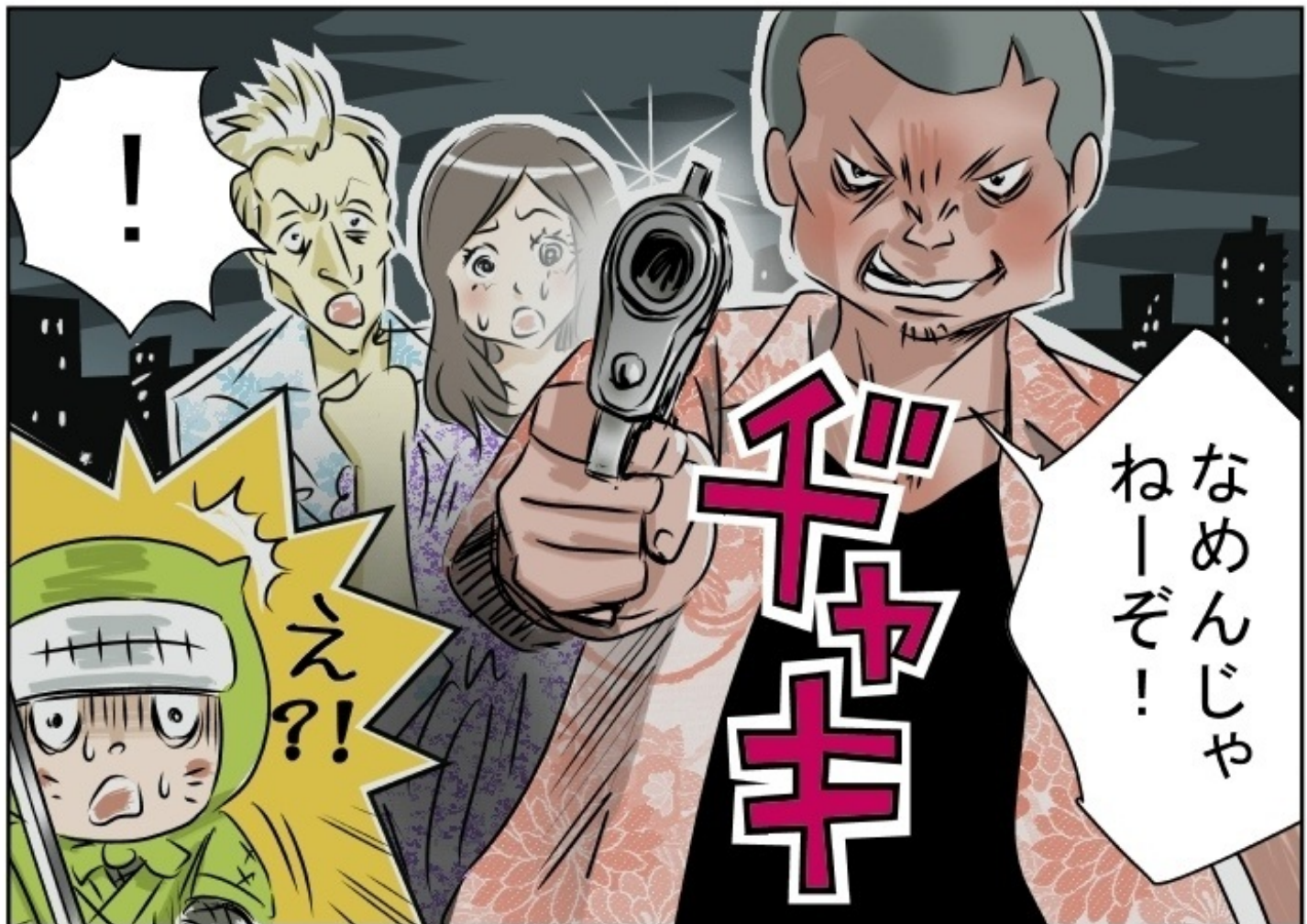
「のママあ……」

声出すんじゃないよえ
つつつてんだよ!!

ああア?!

その手を
はなせ!







アニキ
それはさすがに
ヤバいですぜ……!



そ、それモデルガン
だよな？
ね？

てめーの体で
試してみな!



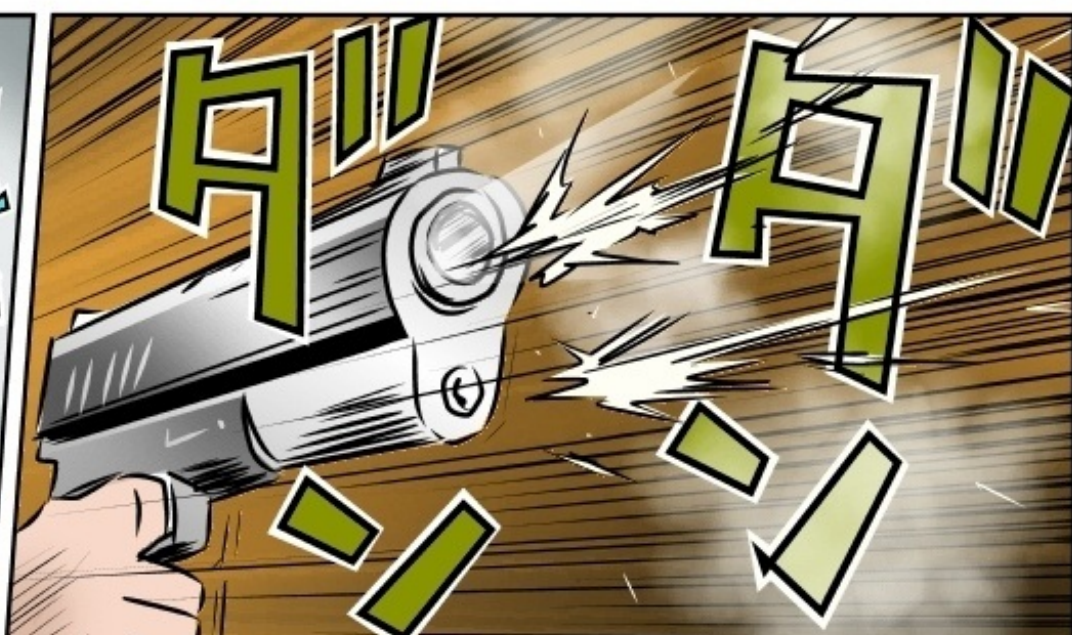
脳みそ
ぶちまけて
やる!

クック



たとえ
無名でも

……





アニキ!

上——!!!



?!

消えた
.....



雨の日も
風の日も

休まずに
鍛錬を重ねて
きた

!!

なんじゃ……

「リヤ
あああ?!

この忍術が

私のすべて
……

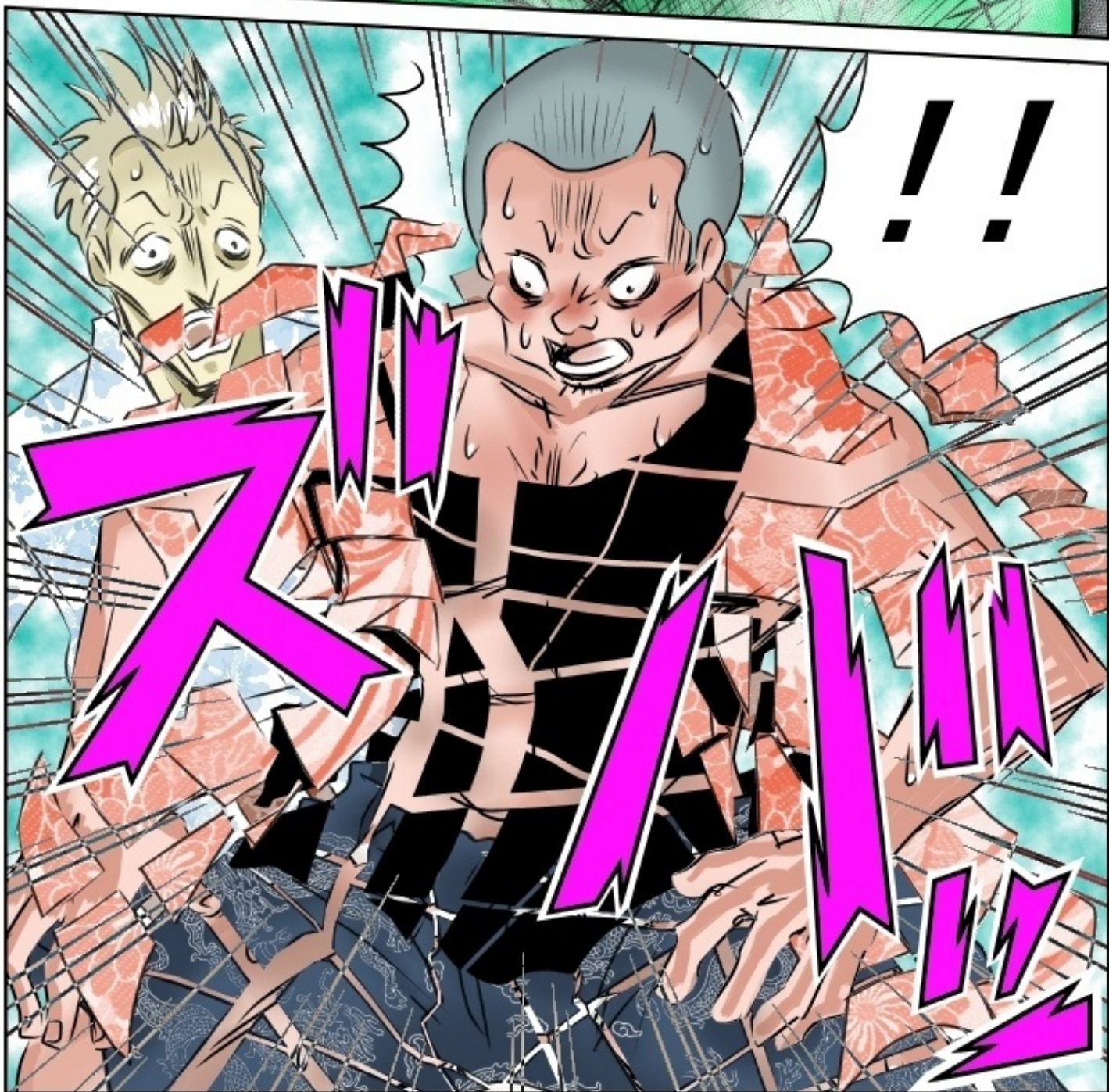


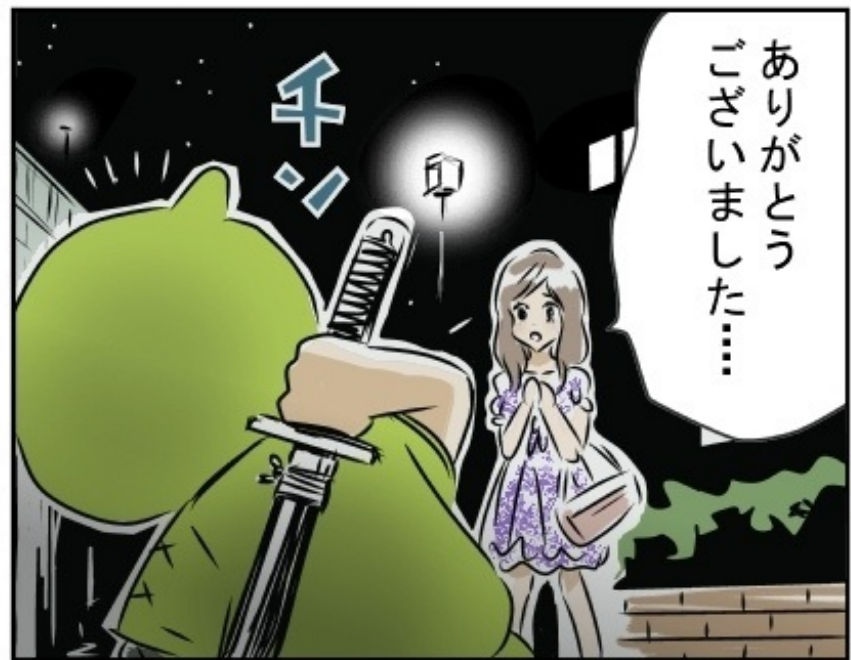
次はチンコ

切り落とす



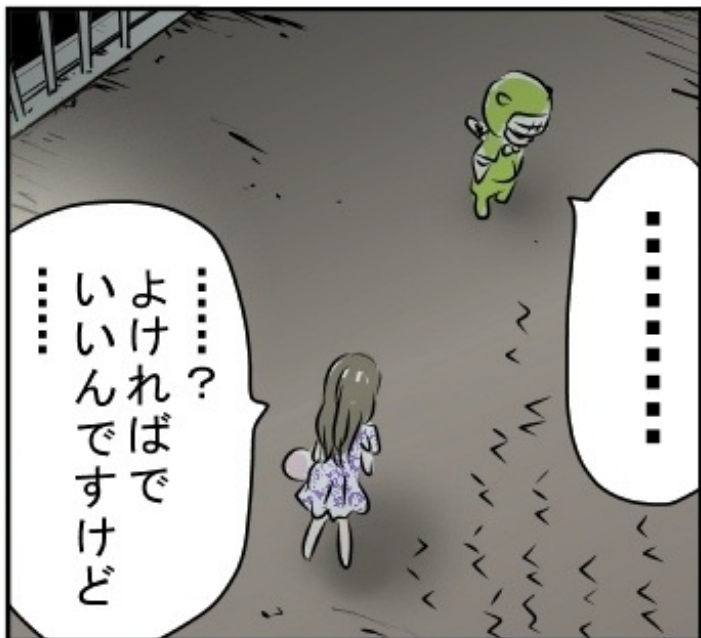
!!







残念ながら
拙者……

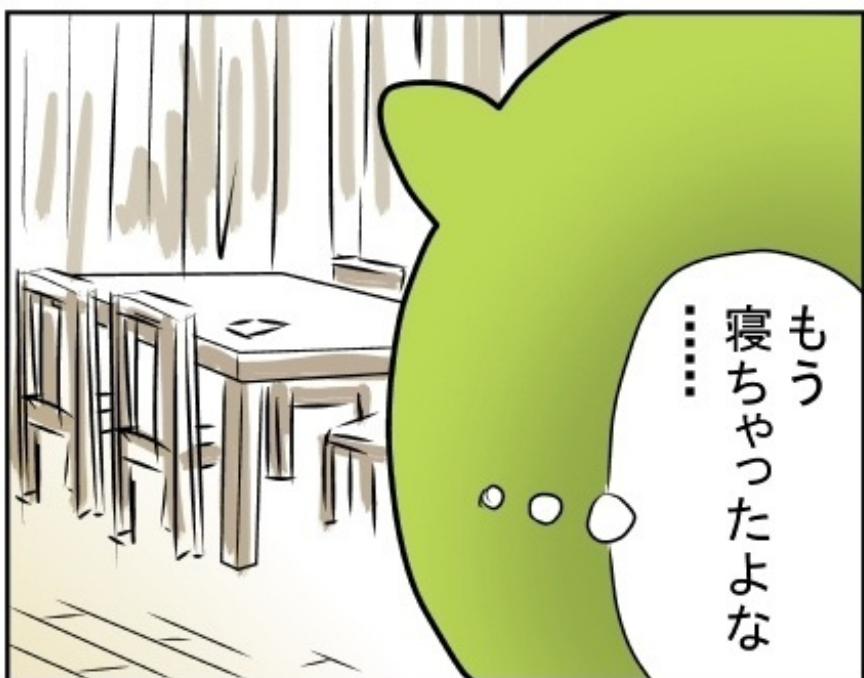


……？
よければで
いいんですけど
……

……

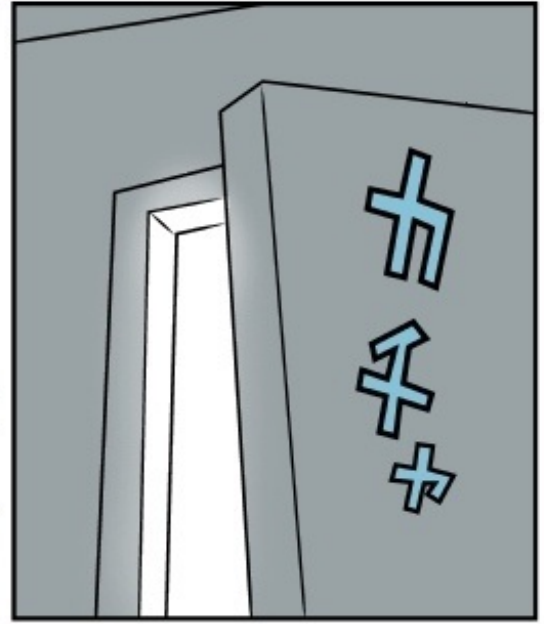


無名で
いづる





さっきはごめんね。
明日も早いので
先に寝ます。
まーにゃん



りりホッ

びりびり〜

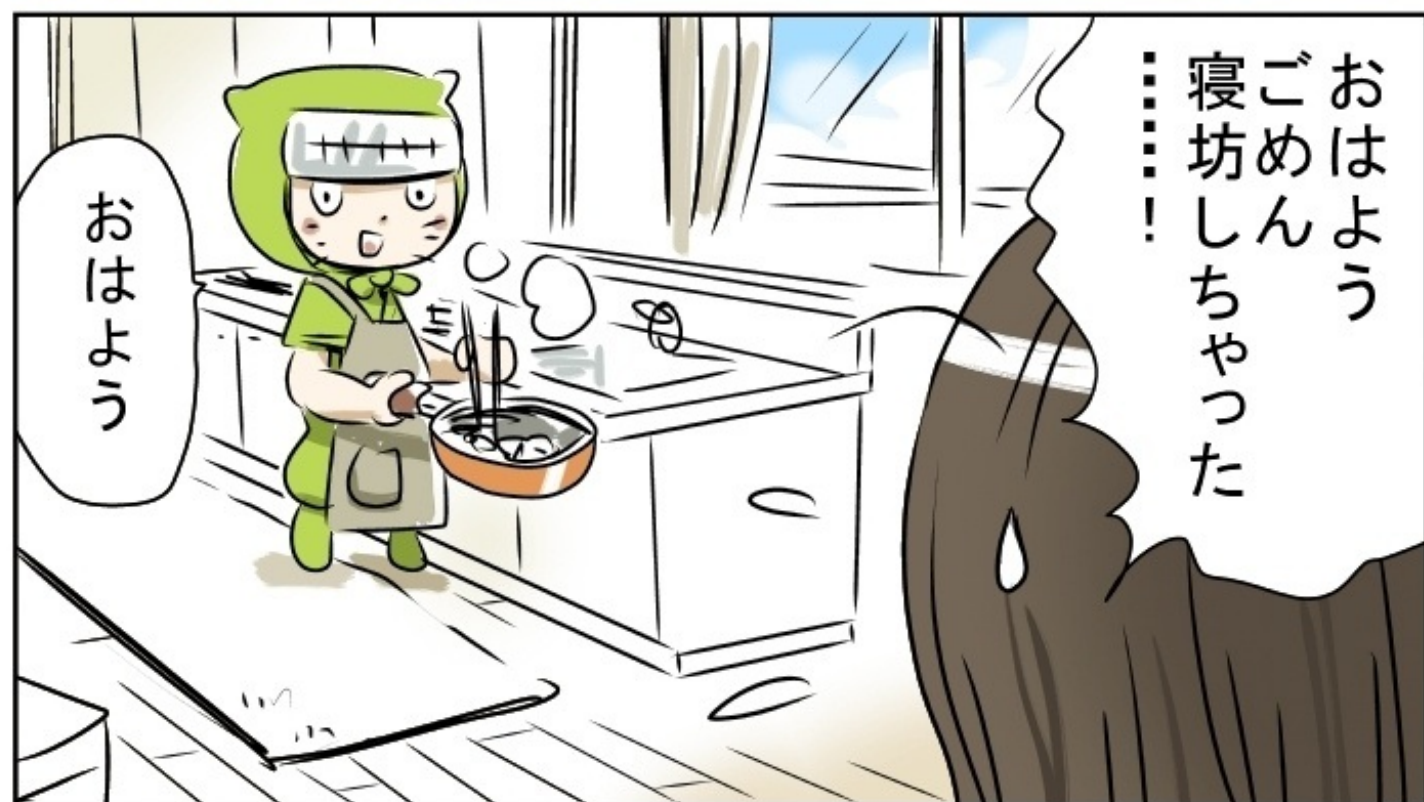
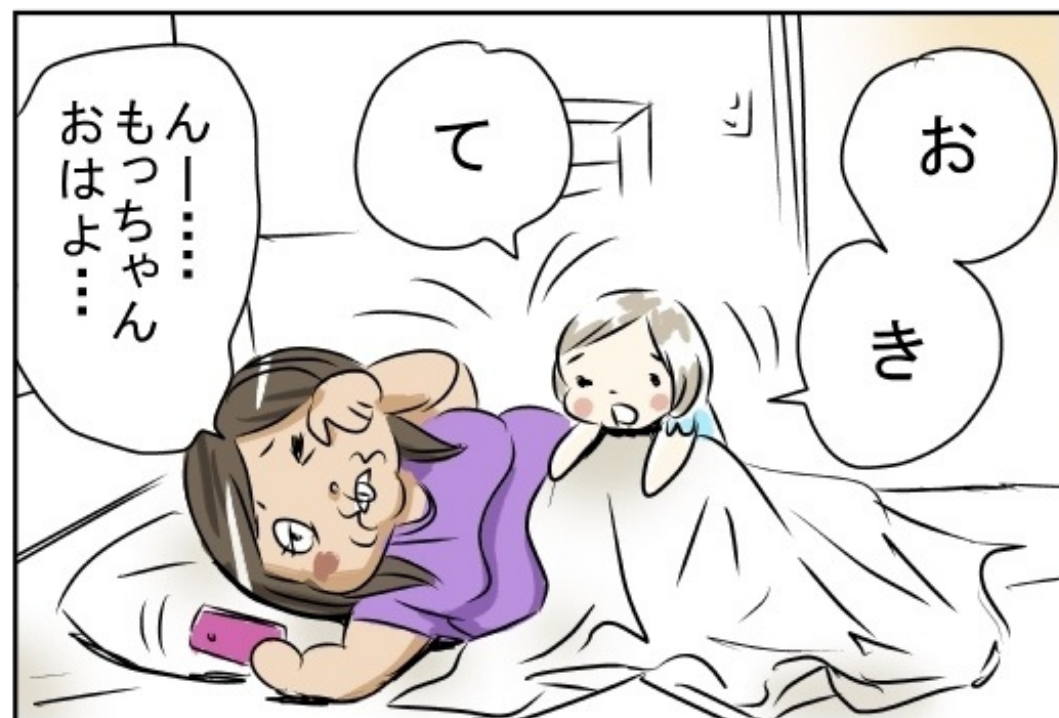
君のことを
幸せにしたい
という気持ちは
変わってないんだ

出会ったときから
ずっと……

いつか
君を

君たちを

必ず
この手で……





お弁当も
ほら!



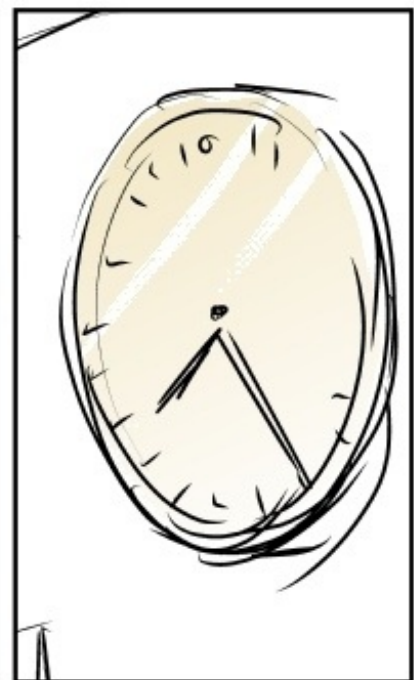
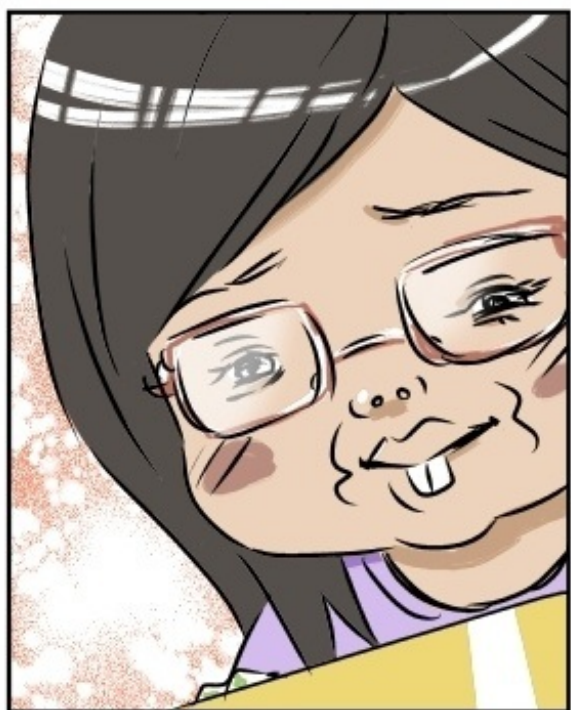
大丈夫
終わったから

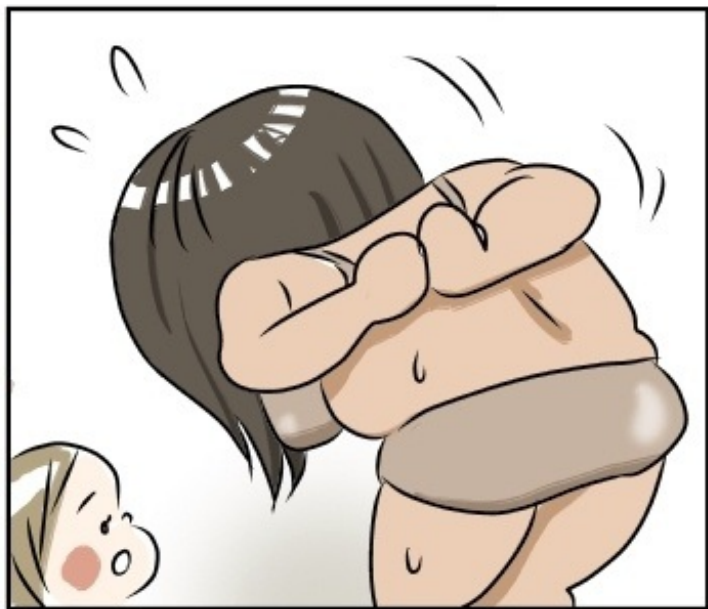
手伝う!



いつも
ありがとうね...

それより
早く朝食食べて
支度しなきゃ





じゃあ
行ってきます！

気をつけてね！



ばば
いい



また後で
迎えに行くから

もっちゃん
いってらっしゃい



拙者、無名でござる

<http://p.booklog.jp/book/59493>

著者：丸本チンタ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/chinchin79/profile>

子育てブログ：子育て忍者

<http://chinta0009.blog.fc2.com/>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/59493>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/59493>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ